

あおもりを愛する人づくり戦略 改定案

青 森 県

第1 あおもりを愛する人づくり戦略の見直しに当たって

1 はじめに

本県が「自主自立の青森県づくり」を進めて「生活創造社会」を実現していく上で、最も基本となるのは、人の財（たから）、すなわち「人財」であり、人財の育成こそがあらゆる分野の根幹をなす、未来の青森県づくりの基盤となるものです。

本戦略は、県が人財育成の取組を進める際のこうした基本的考え方を示すとともに、中長期的な視点から持続的・継続的かつ重点的に進めていく取組戦略を示すものとして、平成19年9月に策定されました。

2 戦略策定後の社会経済環境の変化

本戦略の策定後、本県を取り巻く社会経済環境は、これまで以上に速く、そして大きく変化してきました。具体的には、東日本大震災の発生とその後の長引く影響や、東北新幹線全線開業、北海道新幹線新青森～新函館北斗間開業、経済のグローバル化の進展と本県の社会経済への直接的な影響、ICTなどの科学技術の進歩とそれに伴う生活様式の変化などがあげられますが、中でも、本格的な人口減少社会の到来は、産業の各分野における担い手不足や消費の低迷等による地域経済の縮小、地域コミュニティの機能低下など、本県の社会経済に大きな影響を与えることが懸念されています。

一方、これまでの継続的な取組を通じて、あおもりの「今」と「未来」をつくる多くの優れた人財が各分野で育成されてきました。こうした人財は、不確実で見通しが立たない社会経済環境にあっても、ふるさとあおもりを愛する気持ちを原動力として、たくましく、かつ、しなやかに、刻々と変容する社会の多様性を受け止めながら、本県の未来を明るい方向に変えるために積極果敢に挑戦し、一步一步着実に成果を積み上げてきました。

本県は、世界自然遺産の白神山地や八甲田連峰・十和田湖を核とする十和田八幡平国立公園、種差海岸や階上岳などから構成される三陸復興国立公園などに代表される豊かな自然環境のほか、この豊かな自然からもたらされる豊富な水資源、安全安心な農林水産物の生産を可能にする土壌や海、歴史と文化に培われた個性あふれる生活文化、多様なエネルギー資源、国内外につながる陸・海・空のネットワークなど、他地域にはない数多くの強みを持っています。これらの強みを生かして、多くの人財が様々な分野で活躍し、新たな価値の創出に取り組んでいます。

（注）「生活創造社会」

「生活創造社会」とは、県が「生活創造推進プラン」（平成16年12月策定）で掲げた、県が実現をめざす社会の将来像です。具体的には、豊かな自然環境の中で、自然のリズムやゆったりと流れる時間が大切にされ、青森で生きることの価値やすばらしさを実感できる社会、そして、物事や人生にチャレンジする意欲がわいてくる社会など、県民が安んじて生きられる、そして輝いて生きられるような社会の姿を指します。

県は、このような「暮らしやすさではどこにも負けない地域づくり」をめざして、「生業（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」の実現と、これらから生み出される価値が世界に貢献し広く認められている状態の実現に向けて、重点的かつ戦略的に各分野の施策を進めてきました。

このように県では、県行政全般に係る政策及び施策の基本的な考え方や方向性を表す言葉として「生活創造社会」を用いています。

3 戦略策定の趣旨

(ねらい)

県では、人づくりはあらゆる分野の礎となるものであり、本県の「生業（なりわい）」と「生活」の価値を生み出すための最も基本となる取組であるとの観点に立って、各分野における人財育成の取組を進めてきました。今日では、これまでの取組で育成された人財が各分野で活躍し、成果を積み重ねています。

しかし一方で、人財の育成は、一朝一夕になし得るものではなく、「百年の計は人を植うるにあり。」と言われるように、中長期的な視点でこれをとらえ、2030年のめざす姿の実現に向けて本県の「地域力」を結集し、持続的・継続的な取組を進めていくことが大切です。

本県の抱える様々な課題に対し、的確に対処するためには、一見遠回りに思われても、人財の育成に力を傾注することこそが、結果として自主自立の青森県づくりに貢献する最も的確で効果的な施策です。

このため、この「あおもりを愛する人づくり戦略」では、各分野の課題に挑戦する多様な人財に共通して求められる最も基本的な要素である資質、能力、マインドを備えた、チャレンジ精神あふれる人財の育成をねらいとします。一方、各分野における専門的な人財育成については、それぞれの分野の課題や特性に応じた形で、社会経済状況環境の変化に対応しながら、専門性を高める取組を進めていきます。

地域にチャレンジ精神あふれる人財が数多く生まれ、それにより地域が元気になり、そして元気な地域がさらに人財を呼び込み新たな人財を育て、さらに地域が元気になるという「持続可能な人財育成」を確立することによって、その地域に暮らす人々が地域の諸課題を自ら解決し、住みよい地域となることにつながっていくと考えられます。

これらを念頭に置いて、人財育成の取組を今後もさらに効果的に推進していくため、県では、知事部局と教育委員会との連携をより一層進めるとともに、産・学・官・金融の連携や、家庭、地域、企業及び行政などの連携をより効果的なものとし、県民総ぐるみで「人財」きらめく青森県の実現をめざしていきます。

(戦略の性格と役割)

本戦略では、自主自立の青森県づくりを進め、「生活創造社会」を実現する上で、最も基本となる人財の育成を県民総ぐるみで取り組んでいくため、この戦略における人財育成の基本的考え方を明らかにするとともに、あわせて、県が関係主体との連携により、めざす人財像の実現に向けて重点的に進めていく取組戦略を示しています。

(取組戦略の推進)

本戦略における取組戦略については、本県を取り巻く社会経済環境の変化に対応して適時適切に見直しを行うとともに、青森県基本計画や「まち・ひと・しごと創生青森県長期人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」、「青森県教育振興基本計画」「青森県教育施策の大綱」等、本県の方向性を定める他の計画等との整合も勘案しながら、中長期的な視点に立って、持続的・継続的に進めていきます。

第2 あおもりを愛する人づくり戦略

1 人財育成の基本的考え方

(1) 基本理念

ふるさとあおもりを愛し、ふるさとあおもりの元気をつくる人財の育成

人財育成の基本理念として、「ふるさとあおもりを愛し、ふるさとあおもりの元気をつくる人財の育成」を掲げ、ふるさとに愛着と誇りを持ち、自ら考え、自ら行動し、ふるさとの元気をつくるために挑戦していくチャレンジ精神あふれる人財の育成に引き続き取り組みます。

自主自立の青森県づくりを進め、「生活創造社会」を実現するためには、地域で挑戦し、地域を元気にしていこうとする人財が最も基本となり、また、そのような人財が未来の青森県づくりの基盤になります。

ふるさとにいても、また、ふるさとの地を遠く離れていても、ともにふるさとを思い、愛する気持ちを礎として、ふるさとあおもりの元気をつくるために、気概を持って立ち向かっていく人財を育てていくことが、本県の新しい可能性を切り拓き、未来を確かなものにしていくことにつながります。

(2) めざす人財像

地域の個性や可能性を知り、自分なりの価値観と創造性を持って志の実現に向かって挑戦していく人財

基本理念に掲げる「ふるさとあおもりを愛し、ふるさとあおもりの元気をつくる人財」の具体的な姿を、めざす人財像「地域の個性や可能性を知り、自分なりの価値観と創造性を持って志の実現に向かって挑戦していく人財」とします。

地域の資源や価値、可能性、課題など、ふるさとの姿を知り、そこから生まれるふるさとへの思いをもとに、自らの夢や志を実現するため、進取の精神、挑戦する意志を持って自己の人生と地域の新しい未来を切り拓いていく人財が求められます。

人財それぞれの価値観をもとに、それぞれの知恵や創造する心で、地域の資源や価値、可能性をさらに磨き上げ、また、地域の課題を解決しようとする行動こそが、地域に変革と元気をもたらします。

(3) 人財に必要な力

めざす人財像「地域の個性や可能性を知り、自分なりの価値観と創造性を持って志の実現に向かって挑戦していく人財」に必要な力として、より強く求められるのは、次の3つの力です。

ふるさとを発見する力

ふるさとあおもりを知り、愛着と誇りを持ち、他の地域や異なる文化との比較ができる広い視野を持つこと

自己を革新する力

常に学び、自らを高める意欲を持つこと

目標を実現する力

目標の実現のため、挑戦し、やり遂げること

それぞれの夢や志を現実のものとするため、世代にかかわらず常に学びと探求の意欲を持ち続け、自らの目標の実現に向かって、積極果敢に挑戦し、やり遂げようとする行動が大切です。そのような行動の積み重ねが、将来にわたって、持続可能なふるさとあおもりを作り上げていくこととなります。

2 人財育成の基本目標

基本理念とする「ふるさとあおもりを愛し、ふるさとあおもりの元気をつくる人財の育成」に向け、未来を担う若者や子どもたちを「あおもりの未来をつくる人財」、地域産業や地域づくり・生業づくりの担い手を「あおもりの今をつくる人財」として、それぞれ育成していくことを基本目標に掲げ、中長期的な視点に立って具体的な取組を推進していきます。

(1) あおもりの未来をつくる人財の育成

若者や子どもたちが、夢や志をはぐくみ、必要な力を身につけて、ふるさとあおもりの元気をつくる次代の人財として活躍するよう育成していく。

若者や子どもたちが地域の将来を担う人財としてたくましく成長していくことをめざし、同世代の人や教員、地域の人との対話や、先人の考え方にふれながら自らの考えを深め、不確実で先を見通すことが難しい社会にあっても自らの夢や志の実現に向かって主体的に取り組んでいけるよう、「人財に必要な力」(第2-1-(3)参照)をはぐくんでいきます。

そのため、若者や子どもたちが、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な学習活動を地域ぐるみで推進し、ふるさとあおもりの元気をつくる次代の人財として羽ばたき、活躍していくよう育成していきます。

(2) あおもりの今をつくる人財の育成

地域の個性や可能性を活かして、新しい価値の創出に果敢に挑戦し、ふるさとあおもりの元気をつくる人財を育成していく。

地域資源を独自の視点で発掘・活用して、創業・起業、経営革新などに果敢に挑戦し、地域経済に活力をもたらす人財や、地域を元気にしようと積極的に地域づくり・生業づくりに取り組む人財を育成していきます。

そのため、創業・起業、経営革新や地域づくり・生業づくりに取り組む人財への支援とともに、創業・起業、経営革新や地域づくり・生業づくりに対する県民意識の醸成等に取り組みます。また、我が国全体で進む長寿化に伴う健康寿命の延伸を踏まえ、より多くの県民が生涯にわたって十分に能力を発揮し、各分野、各地域でふるさとあおもりの元気をつくる人財として、いきいきと活躍できるよう育成していきます。

3 人財育成のための取組の方向

基本目標に掲げる「あおもりの未来をつくる人財の育成」と「あおもりの今をつくる人財の育成」のため、社会経済環境の変化に対応しながら、各関係主体がともに取り組んでいくことが必要です。

そのためには、産・学・官・金の連携や、教育界と産業界・地域との連携を一層深め、地域の様々な人財、ネットワークなどの「地域力」を最大限に活かしていくことが重要となることから、関係主体の連携による取組の効果が最大限発揮されるよう、社会経済環境の変化や地域の実情を踏まえながら、柔軟に対応していきます。

4 人財育成の取組戦略

「めざす人財像」の実現に向けて、次に掲げる10の取組戦略に基づき、中長期的な視点に立って、本県の地域力を結集し、持続的・継続的な取組を着実かつ戦略的に進めていきます。

特に、チャレンジ精神に富んだ次代の人財の育成に向けた地域ぐるみのキャリア教育活動の効果的な展開と、本県の最重要課題の一つである「産業・雇用づくり」を支える挑戦意欲に満ちた地域産業の担い手の育成に向けて、より重点的な取組を進めていきます。

このため、関係主体の連携による継続的な人財育成の取組が更なる効果を発揮できるよう、社会経済環境の変化に応じて柔軟に連携体制を見直すなど、取組の目的や優先度等を踏まえながら随時検討を行い、持続的・継続的に取組を展開していきます。

(1) あおもりの未来をつくる人財の育成

取組戦略1 ふるさとあおもりの魅力や特徴、課題を知る教育の充実

本県の若者や子どもたちが、ふるさとあおもりの元気をつくる次代の人財として活躍することを自ら志すよう、ふるさとの姿をしっかりと見つめて心に刻む活動の充実に取り組みます。

【取組の基本方向】

本県の個性や可能性、課題を知り、ふるさとに対する愛着と誇りをはぐくむ活動の充実

(展開施策)

- 本県の歴史、文化、自然、暮らし、産業を学ぶ活動を充実させます。
- 本県の現状と課題を知り、地域の将来を考える活動を充実させます。
- 世界の中における本県の姿への理解をより深めるため、他の国や地域の歴史、文化、自然、暮らし、産業を学ぶ活動を充実させます。

取組戦略2 地域ぐるみのキャリア教育活動の推進

本県の若者や子どもたちが、ふるさとあおもりの未来を創り出して行くために必要な資質・能力、マインドを身につけることができるよう、大学や学校、企業、各種団体など地域の関係主体による地域ぐるみのキャリア教育活動を推進するとともに、若者や高校生がこれからの社会を生き抜く上で必要となる能力を身につけ、学校生活から社会生活へ円滑に移行できるような取組を充実させます。

【取組の基本方向】

① 地域ぐるみのキャリア教育活動の展開に係る支援の充実

(展開施策)

- 地域産業の特徴を生かしたキャリア教育プログラムの開発とその普及を進めます。
- キャリア教育に係る特色ある取組への支援や情報発信を行い、地域ぐるみのキャリア教育の効果的な展開を図ります。

② 大学や学校と地域社会の円滑な接続に資する取組の充実

(展開施策)

- 若者や高校生に対する就業支援のため、職業選択のためのカウンセリングや講習会、研修会等の充実に取り組みます。
- 若者や高校生を対象とする就業体験や社会参加活動などの体験機会を充実させます。
- 地域産業を担う意欲あふれる職業人を育成するため、地元企業や大学等研究機関との連携による取組を進めます。

取組戦略3 キャリア教育活動を支える学校、地域社会、家庭の教育力の向上

キャリア教育活動を効果的に展開するため、教員の専門性の向上、家庭の理解促進、地域社会の参画促進に取り組みます

また、キャリア教育活動の基礎となる資質の育成に向けて、家庭生活や地域社会活動などの様々な体験機会を提供する取組の推進と社会環境づくりに取り組みます。

【取組の基本方向】

① キャリア教育活動に関する教員の専門性の向上

(展開施策)

- 教員の専門性の向上を図るため、キャリア教育に関するセミナー等の研修機会を充実させます。
- 学校や地域におけるキャリア教育の取組事例を情報発信するとともに、教員相互の情報交換を促進します。

② キャリア教育活動への家庭の理解と地域社会の参画の促進

(展開施策)

- キャリア教育に関する保護者の学習機会を充実させます。
- キャリア教育に関する地域の企業、各種団体の研修機会を充実させるとともに、積極的に参画する企業、各種団体の取組を支援します。
- 地域住民の学校支援ボランティアなどによるキャリア教育への参加を促進します。

③ 子どもたちの豊かな心と健やかな体をはぐくむ取組の推進

(展開施策)

- 子どもたちが様々な体験を通して、自己肯定感や自己有用感を持てるようになるとともに、あいさつなどの基本的な生活習慣を身につけることができるような取組を推進します。
- 家庭の子育てと地域における子育て支援を充実させるとともに、男女が共に仕事と家庭の両立を実現できる環境づくりを進めます。

(2) あおもりの今をつくる人財の育成

取組戦略1 地域の可能性を生かして新しい価値の創出に挑戦する人財への支援

地域の個性や可能性を生かして、農林水産業の発展や新しい価値の創出に挑戦していく人財を育成するため、第一次産業を支える人財や創業・起業をめざす人財への支援を充実させるとともに、本県を拠点としてグローバルに活躍することをめざす人財への支援に取り組みます。

【取組の基本方向】

① 農林水産業の発展を支える人財の育成

(展開施策)

- 一次産業の魅力と可能性を知る機会の充実に取り組みます。
- 新たな技術の活用と創出に取り組む人財の育成を支援します。

② 創業・起業をめざす人財への支援の充実と県民の理解促進

(展開施策)

- 創業・起業に関心を持つ人財相互の交流機会を充実させます。
- 創業・起業に必要な知識・ノウハウや起業マインドを学ぶ機会を充実させます。
- 創業・起業をめざす段階から具体的な事業展開に至るまでの各段階に応じた、経営、技術、資金、人財確保などに対する支援を充実させます。

③ 本県を拠点としてグローバルに活躍することを目指す人財への支援

(展開施策)

- 本県の地域資源が持つ価値を世界に向けて発信し、ビジネス展開につなげる取組を促進します。
- 本県を訪れる外国人に適切に対応できる人財の育成に向けた研修機会の充実に取り組みます。

取組戦略 2 県内企業・団体等の人財育成や経営革新の促進

最大の経営資産である人への投資として人財育成に取り組むよう県内企業等に促すとともに、その成果を経営革新や地域の発展につなげていけるよう取組を促進します。

【取組の基本方向】

① 県内企業等における働き方の見直しを通じた人財育成の促進

(展開施策)

- 県内企業等の経営者を対象とする研修機会を充実させます。
- 県内企業等における働き方の見直しを通じた生産性向上の事例や、企業向け人財育成プログラム等の研修機会の情報提供に積極的に取り組みます。
- 地域の高等教育機関等との連携により、社会人が学び直しできる機会の充実に取り組みます。

② 新分野への進出、経営革新や新たな事業展開をめざす人財への支援の充実

(展開施策)

- 新分野への進出、経営革新や新たな事業展開に必要な知識・実践ノウハウやマインドを学ぶ機会の充実に取り組みます。

- 異業種交流など技術や経営に関する情報交換の場を充実させ、新分野への進出、経営革新や新たな事業展開をめざす人財に対する支援の充実に取り組みます。
- 経営革新の実践事例などに関する情報発信に取り組みます。

取組戦略3 ふるさとあおもりの魅力や特徴を活かした地域づくりの促進

ふるさとを元気にしようとする積極的に地域づくりや生業づくりに取り組む人財を育成するため、その育成に関する取組を推進するとともに、地域づくり活動に対する支援に取り組みます。

【取組の基本方向】

① 地域づくり・生業づくりの担い手育成に向けた取組の推進

(展開施策)

- 地域づくりに積極的に取り組む人財を育成するため、地域づくりや地域経済に関する学習機会を充実させます。
- 地域づくりに対する住民意識の高揚を図るとともに、地域づくりへの参加を促すため、地域の魅力や特徴を活かした取組に関する情報提供を進めます。
- 地域で育った人財が次の世代の人財を育成する「持続可能な人財育成」の確立に向けた取組を進めます。

② 地域づくり活動に対する支援の充実

(展開施策)

- 地域住民のニーズや課題を踏まえた地域づくり活動に対する支援に取り組みます。
- 各地域における地域づくり活動を促進するため、地域づくりに携わる人財のネットワーク拡大に取り組みます。

(3) 取組を推進するための仕組みづくり

取組戦略1 キャリア教育活動の効果的な展開を支える仕組みへの進化

キャリア教育活動をより一層効果的に展開するため、関係主体の多様化と連携の強化に取り組みます。

【取組の基本方向】

① 教育界と産業界・地域との連携の仕組みの強化

(展開施策)

- キャリア教育の効果的かつ持続的な取組を促進するため、学校、企業、各種団体などの関係主体相互の連携を可能とするネットワークの強化に取り組みます。
- キャリア教育を効果的に展開するため、キャリア教育に関する情報の集約・提供機能や関係主体間のコーディネート機能の強化に取り組みます。

- 社会人の学び直しを促進するため、県内高等教育機関等との連携を強化し、様々な学び直し機会の提供に向けた取組を進めます。

② 地域ぐるみのキャリア教育活動を担う関係主体の連携強化

(展開施策)

- 地域ぐるみのキャリア教育をさらに促進するため、各地域の状況に応じて、学校、企業、各種団体など、地域の関係主体による連携の強化に取り組みます。

取組戦略2 産・学・官・金をはじめとした関係主体の連携強化

創業・起業や経営革新、地域づくり・生業づくり、グローバルビジネス等に積極的に取り組む人財を持続的に育成するため、各地域の実情に応じて、産・学・官・金やその他関係主体の連携体制の充実に取り組みます。

【取組の基本方向】

創業・起業、経営革新や地域づくり等の支援に向けた関係主体の連携体制の充実

(展開施策)

- 創業・起業や経営革新、グローバルビジネス等に積極的に取り組む人財を持続的に育成していくため、産・学・官・金の連携の充実に取り組みます。
- 地域づくりの担い手となる人財の相互の交流や自主的・主体的な取組を推進するため、関係主体の連携の充実に取り組みます。

取組戦略3 人財育成を総合的に推進するための拠点の機能強化

人財育成の取組を総合的に展開していくため、関係機関相互の連携強化を図るとともに、人財育成を推進するための拠点の機能強化に取り組みます。

【取組の基本方向】

関係機関相互の連携強化と人財育成を推進するための拠点の機能強化

(展開施策)

- 人財育成に対する県民の意識を醸成するとともに、人財育成の取組を効果的かつ持続的に推進していくため、関係機関相互の連携の更なる強化に取り組みます。
- 人財育成を戦略的に推進していくため、人財育成に関する拠点の機能強化に取り組みます。

取組戦略4 人財育成を支える優れた人財の発掘と活用促進

地域を元気にしていこうとする人財の育成を促進するため、優れた人財の発掘と誘致を進めます。

【取組の基本方向】

① 地域の人財の発掘と戦略的な情報発信の促進

(展開施策)

- 人財育成に対する住民意識の醸成を図るため、地域において創業・起業、経営革新や地域づくり・生業づくりに取り組んでいる身近な人財を掘り起こし、戦略的な情報発信を進めます。
- 地域で活躍する人財の学校や企業等での積極的な活用を促進します。
- 結婚や転勤・就学、U I J ターンなどをきっかけとして、地域で活躍している人財の掘り起こしに取り組むとともに、地域での活用を促進します。

② 人財育成のキーパーソンとなる優れた人財の誘致の促進

(展開施策)

- 優れた識見を有する人財を誘致し、学校や企業を含めた地域社会での積極的な活用を促進します。
- 人財誘致に向けた効果的な情報発信を促進します。